令和5年度 第1回

適正化事業諮問委員会 議事録

公益財団法人 関東貸切バス適正化センター

公益財団法人 関東貸切バス適正化センター
令和5年度 第1回適正化事業諮問委員会 議事録

1 日 時

令和5年6月5日（月） 午後2時00分～午後3時05分

2 場 所

埼玉県さいたま市大宮北袋町1-299-3

埼玉県トラック総合会館5階 中会議室

3 報告事項

諮問委員の選任について

4 議 題

第1号議案 諮問委員長の選定について

第2号議案 令和4年度事業報告及び収支決算について

5 出席者

委員総数5名 出席委員5名（うち委任状出席1名）

岩倉委員、井上委員、小野委員、川中子委員、青山委員

理事3名

根本理事長、橋詰常務理事、島田理事

オブザーバー2名

関東運輸局自動車交通部旅客第一課 生田貸切係長

関東運輸局自動車監査指導部 清家次席自動車監査官

事務局3名

小倉総務担当首席、大柴総務担当職員、縫島適正化事業指導員

5 会議の概要

(1) 定足数の確認及び議事録署名人の選出

委員長が選出されるまでの間、岩倉委員が議長代行を務めることを承認。

本諮問委員会は、適正化事業諮問委員会規程第6条の定足数を満たしていることにより成立。

議事録署名人として、岩倉委員及び青山委員を全員一致により選出。

(2) 議案の審議状況及び議決結果

(報告事項)

- ・ 一般貸切自動車運送適正化事業諮問委員会の委員の選任に係る認可について
議長の求めに応じ、事務局から配布資料に基づき一般貸切自動車運送適正化事業諮問委員会の委員の選任に係る認可について報告。

(決議事項)

第1号議案 諮問委員長の選定について

議長の求めに応じ、事務局から、適正化事業諮問委員会規程第2条の規定に基づき、委員会において委員長を選出し、諮問委員会の議長は諮問委員長がこれにあたることになる旨の説明を行うとともに諮問委員長の選定を諮ったところ、全員一致で諮問委員長に岩倉委員を選定。

以降、諮問委員会の議長は、適正化事業諮問委員会規程第3条の規定に基づき、諮問委員長がこれにあたる。

議長の求めに応じ、事務局から、令和5年5月30日付けで根本理事長より提出のあった諮問書の内容（第2号議案）について説明。

第2号議案 令和4年度事業報告及び収支決算について

議長の求めに応じ、事務局から、令和4年度事業報告及び収支決算について、配布資料に基づき説明。

本議案に関する質疑応答は、以下のとおり。

(議長) 資料3(事業報告書)の2ページの巡回指導実施実績で、計画営業所数と実施営業所数で53カ所の差異があるが未実施なのか。

(事務局) 年度途中での事業休止や事業廃止等により計画数より少なくなっている。巡回指導の実施漏れはない。

(青山委員) 事業報告書の2ページの指導項目の件数について、悪質な事業者は見られなかったとなっているが、一番多く指導を受けた事業者はどの位のレベルにあるのか。また、5ページ6ページにかけて今後のセンターの在り方について、センターとしての経営基盤の脆弱性に関して、今後の改善の見通しについてどうなのか。全国の適正化機関と連絡会議を実施したとあるが、似たような問題意識がある適正化機関があったのかお聞きしたい。

橋詰常務理事から、巡回指導の指導項目について、追加資料(令和4年度巡回指導の実施状況)に基づき説明。

(青山委員) このデータは公表しているのか。

(橋詰常務理事) 行政のデータで公表はしていない。

(青山委員) C評価となるような事業者が監査対象となるのか。

(橋詰常務理事) この評価で行政監査とはならない、あくまでも適正化センターから行政への報告を基に監査を行う。評価の下の項目にある速報件数が行政への報告に該当するので監査の対象となる。

(根本理事長) 今後のセンターについては、コロナは収まってきているが、まだ、本格的に観光関係の仕事が戻ってきてはいない。コロナ禍で融資を受けていた事業者が、夏頃から融資の返済が始まり返済できずに倒産してしまう事業者が出て来る事が危惧される。

(島田理事) かなりの事業者がコロナの影響で急激に仕事が無くなり、無担保無利子で融資を受けていたが、今年度からその返済が始まる。徐々に仕事は増えてきているが、観光事業については完全に戻っていない。工夫しながら経営が続けられれば良いが、場合によっては事業が立ち行かなくなる懸念もある。

(根本理事長) 厳しい経営状況の事業者もあり、倒産する事業者が増えると負担金が減り、センターは自転車操業をこれ以上続けられなくなる。何とか経営が続けられれば良いが楽観はできない。

(青山委員) 年に1回の巡回指導が基本だと思うが、優良事業者は減らす事はないのか。

(根本理事長) 現在本省の方で優良な営業所は巡回指導の計画から除くとか、指導項目が多い営業所は改善が適切になされているか再度巡回指導を実施する等検討しているところであり、今後トータルで巡回指導の回数が減少するかは分からない。

(橋詰常務理事) 全国の貸切バス適正化機関の連絡会議の中では、経営問題に関する話は出なかった。

(川中子委員) 事業報告書で未納負担金を速やかに回収するとあるが、貸付金の返済の関係で負担金の納付について猶予の申し出が多くなるのではないか。また、2ページの指導項目の中で任意保険加入で2件カウントされているが、これ以外の事業者はすべて任意保険に加入していたという理解でよろしいか。また、この2件は指導後に加入させたという事なのか。

(事務局) 負担金関係では、令和5年度負担金は5月末が納付期限であったが、4年度に比べ納付率も上がっており、納付期限の猶予等の連絡も今のところほとんどない状況である。

(橋詰常務理事) 指導項目の中の任意保険加入については、コロナ禍で稼働しないこととなった車両について休車制度があるが、無届で休車した車両について任意保険が未加入であった事案である。改善要請を行い休車届が提出された。

(議長) 須走で起きた事故は、新人の教育が適切に出来ていなかったことであり、この適正化委員会は軽井沢のバス事故からスタートしたと理解しているが、同じ様な事故が起こらないよう活動しなければいけないと思っている。須走の事故を受けて指導項目を増やす動きとかの議論はなかったのか。事務的な作業にならないように願いたい。この委員会の中で議論する話ではないかも知れないが、また同じような事故が起きた時にどの様な対処をしていたのかと問われる心配がある。

(根本理事長) 私の理解では、巡回指導を実施し、新人教育を適切に実施しているか確認はしているが、今回の件の様な1人の乗務員の指導が悪かったとピンポイントでの指導は難しいと感じる。

(島田理事) 私も巡回指導を実施しており、事故後は巡回指導の際に、事業者には須走の事例を挙げ何か具体的な対応を実施しているか確認はしている。指導項目のチェックからは外れるが、事例を基に教育の中で徹底するよう事業者へ周知する必要があると思う。

(根本理事長) 事故後は、各事業者が同じ様な事故が起こらないよう気を付けると思うが、巡回指導を実施して何故防げなかったのか。そこは難しい問題である。

(議長) 事前に防げれば良かったが、あのような事故が起きたのに、何も項目を変えていないという事が気になる。

(事務局) 指導項目にはないが、国土交通省から指導教育の指針が示されており、須走の事故の後に坂道での適切な運転操作、危険箇所を踏まえた運転指導、シートベルトの確認、非常口等の使い方の周知の4項目が追加され、それに基づいて指導を強化するよう示されている。

(議長) 今年度から追加して巡回指導を実施しているのか。

(事務局) 4月からこの指針に沿って教育するよう巡回指導を実施している。

(井上委員) 都県ごとの指導結果の資料はないのか。

(橋詰常務理事) センターが実施した営業所情報となるが、現状は都県ごとの指導結果の集計は行っていない。

審議の結果、全員一致で承認。

議長の求めに応じ、事務局から、第2号議案に係る答申書（案）の内容について説明し、諮問案件については適当であると理事長あて答申することを決定した。

（報告事項）

- ・ 定時評議員会（令和5年6月22日開催予定）決議事項について
議長の求めに応じ、事務局から配布資料に基づき6月22日開催予定の定時評議員会の主な決議事項について報告を行った。
- ・ 令和5年度負担金の納付状況について
事務局から令和5年度負担金の納付状況について報告を行った。

以上をもって、議案の審議等を終了し、諮問委員会を閉会。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人は記名押印する。

令和 5年 6月 5日

議事録署名人 議 長 岩 倉 成 志

議事録署名人 青 山 佳 世